

2021年2月24日（水曜）

全労金2021春季生活闘争ニュース・第2号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

すべての職場で一体感のある闘争を展開し、
組合員一人ひとりの知恵と力の結集によって、
全労金組織全体の組織強化を実現しよう！

全労金2021春季生活闘争は、本日、統一要求提出日を迎え、全労金に結集する全14単組闘争委員会は、金庫・事業体・関連会社に要求書や申入書を提出し、2021年4月からの賃金・労働条件を決定する労使交渉を開始しました。

また、単組闘争委員会を支えるすべての中間組織・職場組織においても、所属長等に「要求書」「主旨説明」を提出し、全組合員の総意で確立した要求であることや、闘争体制である旨を伝えることとしました。さらに、要求書提出以降、週1回は交渉状況を所属長等に伝え、所属長等の認識を確認し、単組闘争委員会と情報を共有することとしています。

新型コロナウイルス感染症による感染状況は、都道府県によって異なり、現在も10都府県で緊急事態宣言が発令されています。金庫・事業体・関連会社によっては、感染防止の観点から、交代勤務や在宅勤務等が実施されており、組合員が一堂に会することができない職場もあります。単組においても、密回避の観点から身体的距離を保ち、WEBも活用しながら執行委員会や中央委員会を開催し、職場組織においても、職場集会の開催にあたり工夫した組織運営をされていると認識しています。

そのような中、2021春季生活闘争を迎えました。

全労金は、全労金組織全体が「労金業態に働くすべての労働者が安心して働き続けることができる職場環境の実現」に向けて、「全単組・全組合員が同じ思いを持ち、『要求』または『協議』、『仲間への支援』を進める」とする「統一闘争」を継続することとしました。新型コロナウイルス感染症の罹患や濃厚接触、身体的距離の確保等、一体感を持ちにくい環境の中で「統一闘争」を実現するためには、全労金中央闘争委員会・単組闘争委員会・中間組織・職場組織、そして、組合員のみなさんが、例年以上に認識を合わせ、交渉状況を共有し、心は密に団結した闘争の展開が重要になります。

2021春季生活闘争は、新型コロナウイルス感染症の影響が各地域により大きく違いがあり、例年と異なる収束もあるかもしれない異例の闘争ですが、労金業態で働くすべての労働者が、安心して働き続けることができる職場環境・労働条件を実現すべく、議論を積み重ね、組合員の総意で確立した要求です。この要求に自信と確信を持ち、職場組織から取り組みを展開し要求を実現することで、「将来（未来）への責任」を果たし、雇用・労働条件に関わる課題の解決につなげましょう。

本日以降、単組闘争委員会は金庫・事業者・関連会社と交渉を進めますが、交渉の根幹は、全労金組織 9,000名一人ひとりの想いや拘り、そして、労働組合に集う結集力です。全組合員が、職場組織から、職場集会の開催、全労金・単組2021春季生活闘争ニュースによる情報の共有等、闘争態勢を構築し、コロナ禍であっても、全労金組織の組織強化を実現させ、回答期限日までに満額回答が得られるよう、力強く闘い抜きましょう。

全 労 金 中 央 闘 争 委 員 会
中 央 闘 争 委 員 長 末 留 新 吾

※ 次号は2月25日（木）に配信予定です。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください！

以 上

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！